

つぎの5観点 各選択肢数値が点数で、20点満点

申請理由書

出願理由(将来のビジョン)問題意識と展望

- 4 出願理由が明確に述べられている。本事業の趣旨に合致している。出願理由とPBTSで提案する内容とのつながりも明快に述べられている。博士課程での研究目的が問題意識とともに、はっきり記述されている。大学院における自分の成長のイメージ、学位取得後の展望も明確に定められている。
 - 3 本事業の趣旨に合致した出願理由と博士課程での研究目的、問題意識が述べられている。それらとPBTSとのつながり、および自分の成長のイメージに触れている。学位取得後の展望も述べられている。
 - 2 本事業の趣旨に沿う出願理由と学位取得後の展望が述べられている。
 - 1 出願理由に、本事業の趣旨に合致しない部分が多く認められる、あるいは主たる出願理由に本事業ではあきらかに満たせないことが述べられている。あるいは学位取得後の展望と本事業の趣旨のあいだにあきらかな隔りがある。
 - 0 出願理由の記述になっていない。
-

PBTS提案書

(1) 課題設定力・課題に対する意識

- 4 課題の背景記述が明快で、それに依拠して課題の中心となる問題(ポイント)をはっきりとらえていて説得力がある。おこなうことの革新性を意識している。
- 3 課題の背景記述とともに課題の中心となる問題をおさえている。
- 2 課題の背景とそのなかでの課題設定と問題点は述べられている。しかしながら、扱うべき問題が絞り切れていない。
- 1 課題の背景と設定の記述はあるが、そのなかの問題の指摘が不明確である。
- 0 課題の背景記述と課題設定の関係性が不明、またはあいまい。

(2) 計画性

- 4 課題遂行の方法について、具体的な手続きとスケジュールを明確にした記述(なにをいつまでにするか)がある。その内容に十分な論理性と遂行に関して現実的な計画性がある。また危機管理的対応(とくに重要な点について予定どおり進まなかった場合の対応)の記述がある。
- 3 課題遂行の方法について、具体的な手続きとスケジュールを明確にした記述がある。
- 2 課題遂行の方法は記されているが、手続きとスケジュールが具体的でない。
- 1 課題遂行の方法は記されているが、その手続きが記述されていないか、不明確である。
- 0 課題遂行の方法が記述されていないか、あいまいである。

(3) PBTSへの理解

- 4 課題遂行にあたって必要となるチームワーク(チームスタディ)とグローバル研修(研究室ローテーション)をどのように活用するか具体的な記述があり、その内容の継続性と展望に説得力のある説明がある。
- 3 課題遂行にあたって必要となるチームワーク(チームスタディ)と、グローバル研修(研究室ローテーション)の活用について具体的な記述がある。
- 2 課題遂行上、どのようにチームワーク(チームスタディ)と、グローバル研修(研究室ローテーション)の活用について記述している。
- 1 チームワーク(チームスタディ)やグローバル研修(研究室ローテーション)について言及している。
- 0 チーム、グローバル研修(研究室ローテーション)いずれについても言及していない。

(4) 本提案書の記述の仕方

- 4 端的、明確に書かれており、提案書の構成が整理されていて、十分に推敲されている。内容に背景知識の裏づけが感じられる。論理に飛躍がない。種々の専門分野の読み手を想定した記述がなされ、広域からの興味や関心をひきつけることに配慮している。
- 3 必要なことが書かれ、文章構成に配慮され、推敲もなされている。記述にあたり必要な知識についても不安を感じさせない。

2 最低限必要なことは書かれている。しかしながら、一部に論理的に伝わりにくいところがあったり、推敲不十分な点を具体的に指摘できる。あきらかに不十分な知識にもとづく記述がある。

1 求められていることが満たされていない部分がある。文章構成が粗野で、論理的に伝わりにくいところが多い。推敲不十分な点を具体的に指摘できる。あきらかに不十分な知識にもとづく記述が多い。

0 内容が整理されておらず、わかりにくい、または何が書いてあるかわからない。